

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	コマンド・ソリッド	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.513	△RG	0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：コマンド・ソリッド**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離  
4-1/2 インチ

番

**比較対照ボール：コマンド**

フレアーの幅  インチ

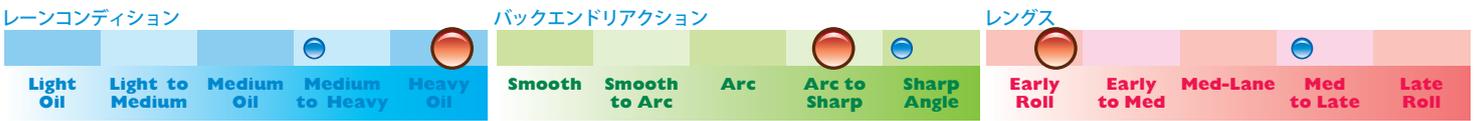
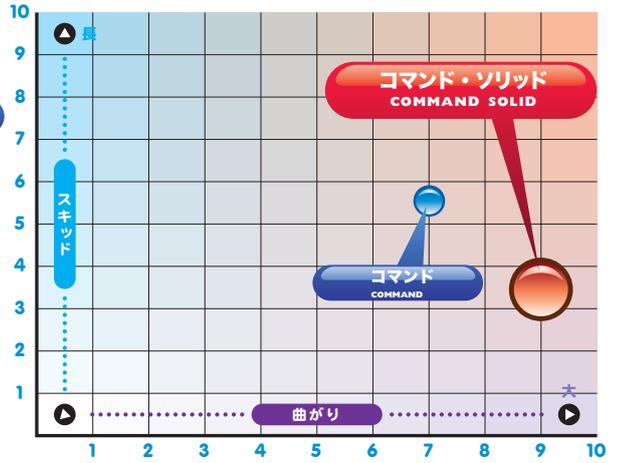
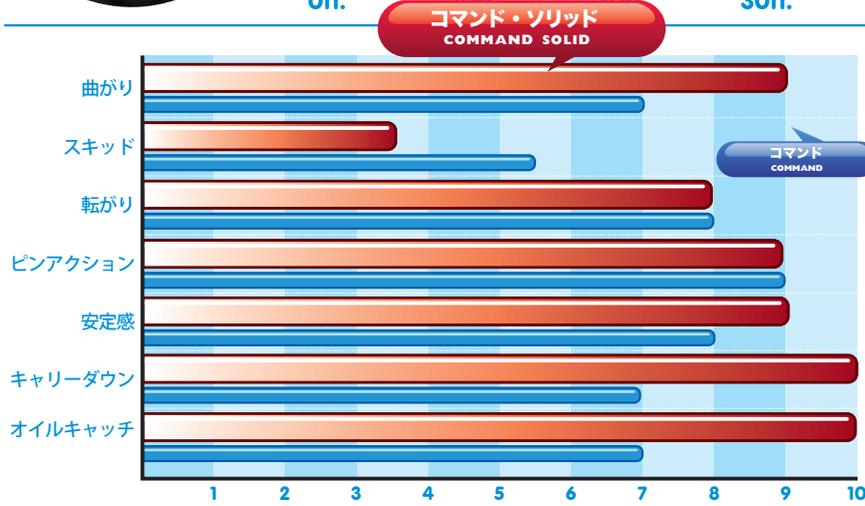
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離  
4-1/2 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

COLUMBIA300でヘビーオイル対応の代表格はAUTHORITY SOLIDでしたが、さらに強くキャッチしてMidから大きくネジれ、曲がり幅も更新したボール、それがこのCOMMAND SOLIDです。

初代COMMANDにも採用されたA. R. S. (Angular Reaction System)カバーストックは今回Solid素材で採用されたことで、COLUMBIA300最大の摩擦係数を誇る素材へと変化し、A.R.S.が特性として持つAngularな動きは、ピンヒットまで大きな動きを出すことと同時に強さをも兼ね備えています。私が投球したイメージでは、投げ始めはかなりキャッチが優先し、薄いオイルでは前に進む感じがしませんでした。そこから2ゲームほど投げ進めると徐々に動きの特性が奥に強く出る傾向が見て取れます。それは箱出しの表面加工が強すぎるためで、その加工がやや落ち着いたことで、コアの動きがピンヒットまで活きていると感ずることが出来ます。それでもオイルに対しての強さは圧倒的で、各社ヘビーオイル向けのボールはたくさん発売されていますが、その中でも指折りのオイルに対しての強さであると言えます。比較投球として初代COMMANDと投げ比べましたが、明らかに特性の差が大きく感じます。普段のフランチャイズのコンディションでは初代COMMANDを中心に使用し、COMMANDで曲がり幅が足りない場合はCOMMAND SOLIDへのボールチェンジが流れとしてできると思います。私はこれぐらい二つのボールに運動差を感じたので、COMMAND SOLID箱出し、COMMAND SOLIDポリッシュ、初代COMMANDと3つを組み合わせることでより細かい対応が可能に感じます。COMMANDに採用されているMovementコアはSolid素材との相性が非常に良いので、箱出しから軽いポリッシュして幅広い領域をカバーすることができます。ABS取り扱い商品の中でもトップレベルのヘビーオイル向けのスペックですので、ぜひご検討ください。

### 特記事項

**A.R.S.Solidカバーストックがコロンビア史上最強のヘビーオイル向けのスペックとして位置づけられ、キャッチを得られながらピンヒットまで強い継続的な動きが可能なるボールに仕上がりました。**